

# 復興の加速化に向けて

平成26年3月

復興副大臣 谷公一

# 東日本大震災の概要

## (1) 規模

- 平成23年3月11日14時46分に三陸沖にて発生
- 我が国の観測史上最大規模の地震(マグニチュード9.0/最大震度7)

## (2) 被害(H26. 1. 10現在)

○ 人的被害		○ 建築物被災	
・ 死者	15,884名	・ 全壊	126,631戸
・ 行方不明	2,640名	・ 半壊	272,653戸
・ 負傷者	6,150名	・ 一部損壊	743,492戸
・ 震災関連死※	2,916名		

※災害弔慰金の支給等に関する法律等を参考に集計(H25. 9. 30現在)

## (3) 阪神淡路大震災との比較

### 東日本大震災

- 全壊:約12万戸
- 地震・津波・原発による広域・複合災害
- 主な住宅再建方法
  - ・ 移転を伴う再建
  - ・ 地盤の嵩上げを基本とした現地での再建
  - ・ 移転もしくは現地での再建
- 過疎化・高齢化が進んでいる地域での災害

### 阪神・淡路大震災

- 全壊:約10万戸
- 直下型地震による災害
- 主な住宅再建方法
  - ・ 現地での再建
  - ・ 住み替えもしくは現地での再建
- 都市部での災害

# 1. 住宅再建・復興まちづくり

## (1) 復興のステージ



## (2) 復興の進捗状況(がれき処理・計画策定のステージ → 本格的工事のステージ)

○ がれき処理	処理割合※	34% → 94%	(H24. 11 → H25. 10)	
○ 防災集団移転	大臣同意	81% → 100%	(H24. 12 → H25. 11)	着工 64% (H25. 11)
○ 土地区画整理	事業化	27% → 94%	(H24. 12 → H25. 11)	着工 65% (H25. 11)
○ 漁業集落防災強化	事業費措置	39% → 97%	(H24. 11 → H25. 11)	着工 50% (H25. 11)

## (3) 取組

※国直轄処理地域を除く

- 復興大臣の下に住宅再建・復興まちづくりの加速化のためのタスクフォースを設置し、加速化措置を第4弾まで取りまとめ
  - ・ 防災集団移転促進事業における事業計画変更の簡素化や土地収用手続きの効率化等
  - ・ CM方式の導入や被災地の公共工事労務単価を改訂(21%の引き上げ)
  - ・ 復興JVの導入や発注ロットの大型化、技術者の効率活用
  - ・ 通常半年以上を要した財産管理制度の手続きを最短で3週間に短縮
- 全国の自治体からの職員派遣や、復興庁による公務員OBや民間実務経験者、青年海外協力隊帰国隊員の派遣等を実施  
(被災自治体の不足人員 805人 → 162人 (H25. 2 → H25. 11))
- 住まいの復興工程表やつちおと情報館(HPに定点観測の写真を掲載)による住宅再建の見通しや復興の進捗状況の見える化
- 消費税率の引上げに伴い、住まいの復興給付金を創設



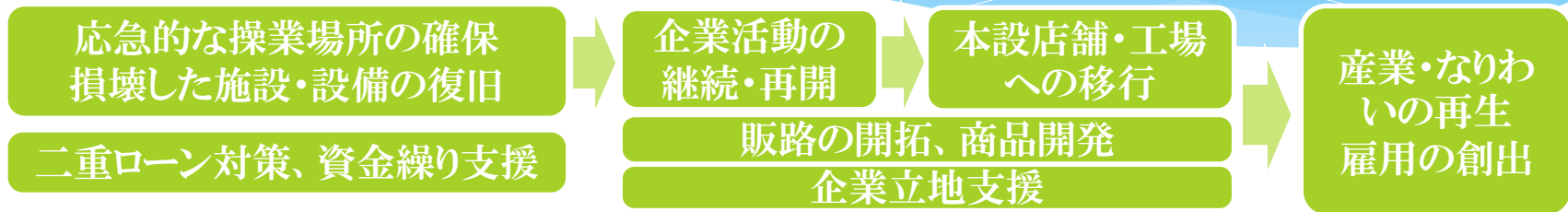
▲ 岩手県大槌町大ヶ口地区  
(災害公営住宅)



▲ 福島県南相馬市南海老地区(防災集団移転促進事業)

## 2. 産業・なりわいの再生と企業連携

### (1) 復興のステージ



### (2) 復興の進捗状況 (仮設における営業再開のステージ → 本設店舗・工場の再建のステージ)

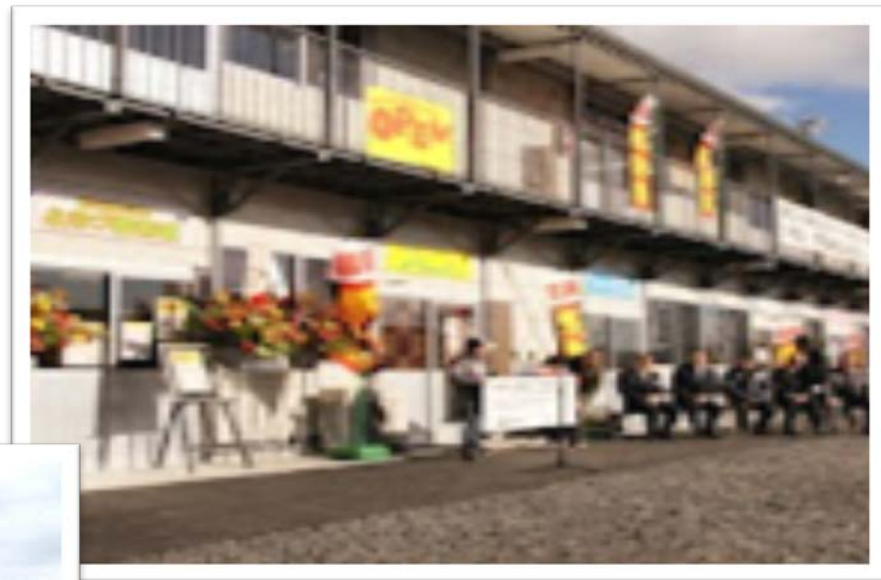
- 津波被災農地のうち営農再開が可能になった農地 38% → **63%** (H24. 12→H25. 12)
- 被災3県で水産加工施設のうち業務再開した施設 69% → **78%** (H24. 12→H25. 9)
- グループ補助金による施設の復旧・整備 **549グループ(約1万事業者)**を支援 (H25. 11)  
(交付先企業の**36.6%**が売り上げ状況が震災直前の水準以上まで回復と回答(アンケート))
- 仮設工場・仮設店舗の整備等の支援 **568竣工(2,814事業者が入居)** (H25. 11)

### (3) 取組

- 仮設店舗・工場等の整備、中小企業グループ補助金による移設・整備の復旧
- 「結の場」による被災企業への経営支援や被災企業と大手企業等とのマッチングを支援
- 津波被災地域と福島県を対象とした企業立地補助金の創設 (商業施設整備支援を拡充)
- 東日本大震災事業者再生支援機構による事業再生支援 (二重ローン対策)  
(被災者からの相談 873件→**1,636件** / 支援決定 103件→**342件** (H24. 12 → H25. 12) )
- 官民連携協議会 (経団連・同友会・日商工等がメンバー) の設立による企業連携の強化
- 加速化措置 (第4弾) において、「商業集積・商店街再生加速化パッケージ」を策定
- 福島再生加速化交付金による商工業再開に向けた環境整備



▲ 営農を再開した農地(仙台市)



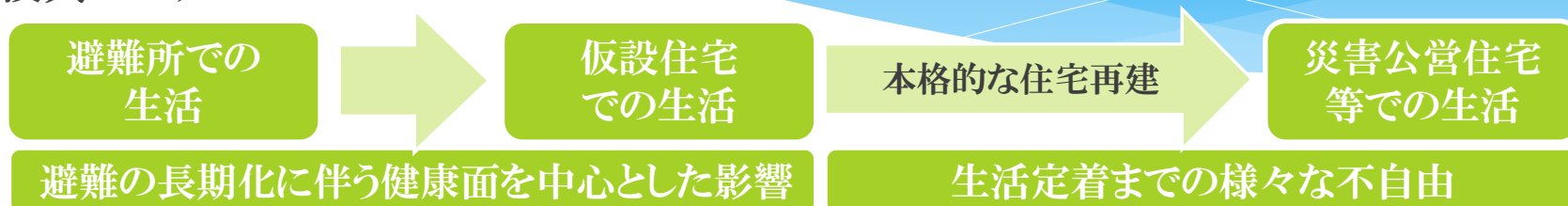
▲ 福幸きらり商店街(大槌町)



◀ 復旧したサケの加工施設(岩手県陸前高田市)

### 3. 健康・生活

#### (1) 復興のステージ



#### (2) 復興の進捗状況

- 被災者の見守りやケア等の活動を行う「復興支援員」 78名(7団体)
- 介護等のサポート拠点 117箇所(H25.7)

#### (3) 取組

- 健康・生活支援に関するタスクフォースを設置し、施策パッケージの取りまとめ
  - ・ 仮設住宅入居者等の避難者に対する健康支援
    - 保健師による巡回保健指導、保健師の確保
  - ・ 子どもに対する支援の強化
    - 心身のケア相談、安心環境づくり、遊具設置・子育てイベント開催、訪問相談
  - ・ 医療・介護人材の確保
    - 福祉・介護人材の安定的な参入及び定着促進を図る就職の際の環境整備
  - ・ 恒久住宅の整備と仮設住宅等からの移転に伴う課題への対応
    - 見守りや交流促進など地域コミュニティの復興支援
    - コミュニティづくりの基盤を支える交通支援
  - ・ 市町村の業務負担に対する支援の強化
    - 被災自治体への人的支援、復興人材プラットフォーム構築事業



▲ 介護等のサポート拠点



▲ スクールカウンセラー



▲ 仮設住宅での健康支援活動



▲ 交流場所でのコミュニティ支援

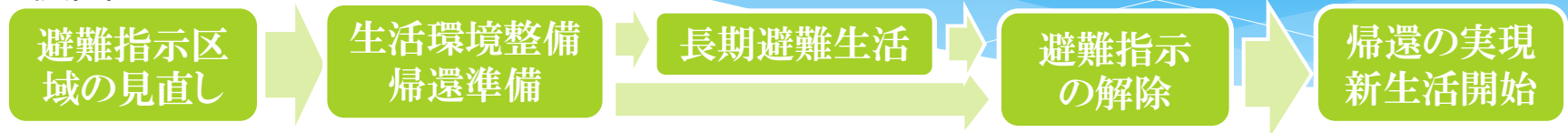


▲ 地域公共交通の確保



## 4. 福島再生・復興

### (1) 復興のステージ



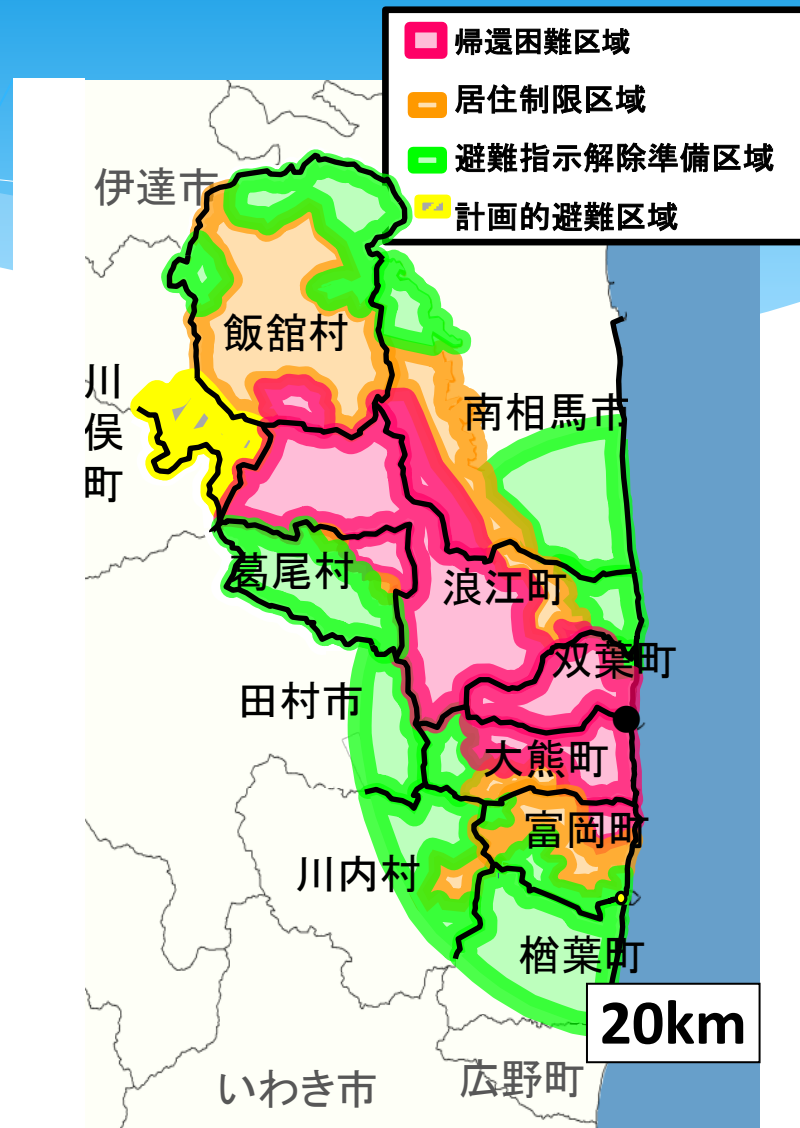
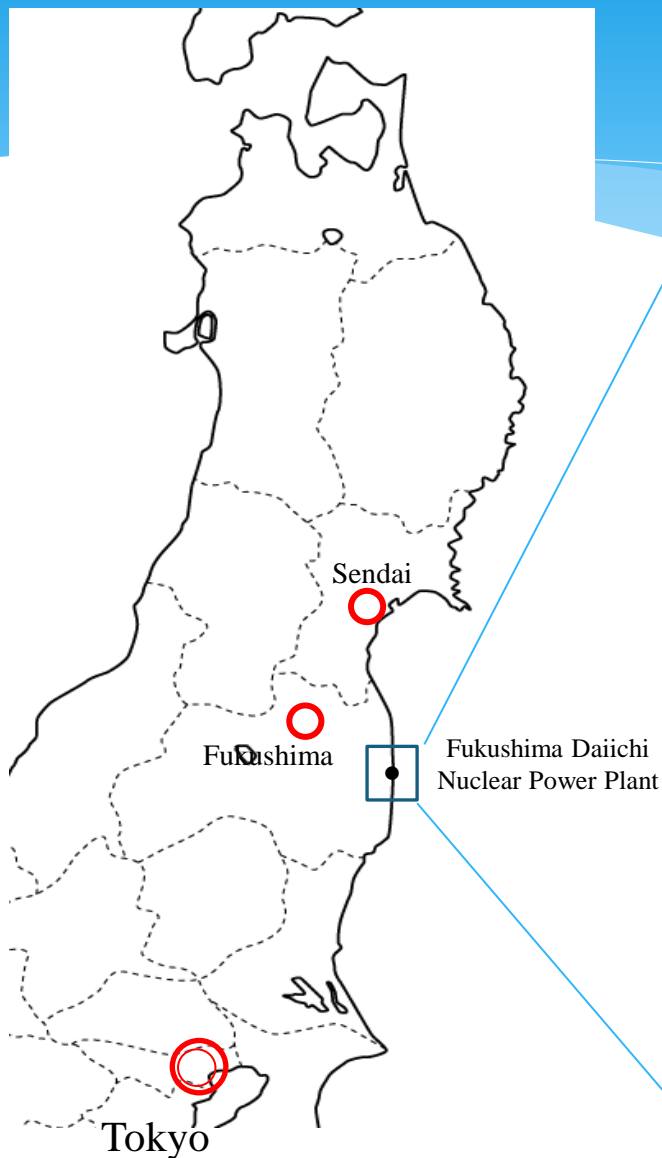
### (2) 復興の進捗状況(区域見直しのステージ → 本格的な帰還環境整備・帰還準備のステージ)

- 避難指示区域見直しの完了(平成25年8月)
- 復興の前提となる原子力損害賠償、除染・中間貯蔵、廃炉・汚染水対策
  - ・ 「原子力災害からの福島復興の加速に向けて」(平成25年12月閣議決定)
  - ・ 住宅賠償、精神的損害等について取りまとめた中間指針第四次追補決定(平成25年12月)
  - ・ 除染の進捗状況の総点検(平成25年9月) → 除染の計画の見直し(平成25年12月)
  - ・ 中間貯蔵施設の設置要請、施設案の提示(平成25年12月)
  - ・ 廃炉・汚染水対策への万全な対応

### (3) 取組

- 福島ふるさと復活プロジェクト
  - ・ 地域の希望復活応援事業(原子力被災12市町村等と約43億円の契約を締結)
  - ・ コミュニティ復活交付金(復興公営住宅2,374戸分の交付金を配分)
  - ・ 子ども元気復活交付金(運動施設33カ所、遊具の更新517ヶ所を採択)
- 平成26年度予算案では上記予算を一括化し、拡充した福島再生加速化交付金を新設
  - ・ 長期避難者への対応から早期帰還のための復興拠点の整備等の施策までを一括支援
  - ・ 対象事業に復興拠点整備など6分野を追加、地元ニーズへより柔軟に対応
- 施策パッケージ等(福島特有の課題に省庁横断的に対応)
  - ・ 早期帰還・定住プラン ・ 原子力災害による被災者支援施策パッケージ／基本方針
  - ・ 除染・復興加速のためのタスクフォースによる中間報告
  - ・ 原子力災害による風評被害を含む影響への対策タスクフォースによる対策パッケージ

# 福島県の状況（避難指示区域）





▲スマイルキッズパーク(福島県本宮市)

## 5. 新しい東北の創造

### (1) 新しい東北の5本柱

- 震災復興を契機として、創造と可能性の地としての「新しい東北」を創造していく（震災前から東北が抱える人口減少や高齢化、産業の空洞化等は日本全体の課題）

元気で健やかな子どもの成長を見守る安心な社会

「高齢者標準」による活力ある超高齢社会

持続可能なエネルギー社会（自律・分散型エネルギー社会）

頑健で高い回復力を持った社会基盤（システム）の導入で先進する社会

高い発信力を持った地域資源を活用する社会

### (2) 新しい東北の実現に向けて（企業連携の推進）

- 先駆的な取り組みを加速するための先導モデル事業の創設（25年度は66案件を採択）
- 人材等を企業等から現地に派遣するためのプラットフォームの構築
- 事業パートナー発掘や販路確保等の支援の仕組みづくり
- 情報の共有・交換を行う「官民連携推進協議会」の設立
- 地域課題の解決に向けた『新しい東北』住まいのこだわり設計事例集の公表

### (3) 東京オリンピック・パラリンピック

- 「新しい東北の創造」では、世界レベルの文武両道を目指していく

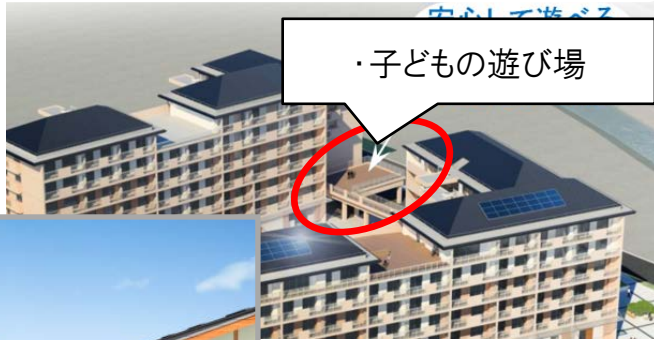
# 新しい東北の創造

## 子どもや高齢者に配慮したコミュニティ



- ・屋内型遊び場
- ・プレイリーダー

## 地域コミュニティに配慮した住まいづくり



- ・子どもの遊び場



- ・縁側

## 官民連携推進協議会



- ・ウェブサイト

## 被災地での事業化に向けた支援



- ・リバイブジャパンカップの大賞